



鴿の声

師走に入ると同時に季節外れの暖かい日々が続いていると思いきや突然の急降下で冬日到来、中旬にはまた暖かさが再来するということですが、12月下旬には早くも雪の情報があります。長期予報では暖冬ということですが、沿岸部には雪の降る日があるのではないかと思いますので、雪用タイヤの早めの装着が必要かも知れません。

さて、かねてより懸案事項であります、鴿嶺の家の改修工事に今月から入りました。工期が来年3月までと大変厳しい日程の中での工事ですが、来年4月には装いも新たにオープンする予定です。鴿嶺の家のご利用者・ご家族様には大変ご不便をおかけしております。又、近隣・地域の皆様方には、鴿嶺の家の開設当初からご支援を賜り、改めてお礼申し上げますとともに、改修工事により大変ご迷惑をお

かけいたしますが、ご配慮の程よろしくお願い申し上げます。私事で恐縮ですが、冬は寒いものと相場は決まっておりますが、準備してかかっても寒いものは寒い。愛犬のハナコは特に寒くなると元気になり、散歩をせがむようになります。もともと朝晩欠かさずにしておりますが、冬になるとその時間が長くなります。真冬の朝、お日様を浴びながらの散歩はとても爽快ですが、雨の日や、北風の強い日は体にこたえます。1・2月の北風の強い大雨の中を歩いていると自分でも何をやっているのかと思うときがあります。

この季節を迎えると、出来るだけ風邪を引かないよう、体調を崩さないよう気を付けていますが、そこは生身の体です。一冬に2回程度は風邪気味になってしまいます。新聞等ではすでに、幼稚園や保育所での

ノロウイルスの集団感染の報道も見かけるようになりました。インフルエンザの集団感染の報告は、暖かいせいかまだ見かけません。事業所内での感染症の発生、特に職員の場合にはどうしても他の職員に負担がかかってしまいます。危機管理体制に入る時もあると思います。元プロ野球選手の中畑 清の言葉に「同じ苦労を経験すると、一体感が生まれる。簡単に「絆が大事」というけど、絆は楽しいことばかりしていても生まれません。」ということがありますので、チームワークで頑張ってくださいと思います。

(総合施設長 齊藤 操)

ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鴉嶺の家（児童）

なにかと慌ただしい年の暮れになりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

先日、特別支援学校の文化祭、秋桜祭ややまも祭へ行き、子どもたちの学校での様子を見ました。小学部の子も達と一緒に遊んでいたりと、時間係のお仕事をしていたり、中学部の子も達は売り子さん頑張っていました。遊びに行かせて頂き、いつもよりいっぱいボールプールや大きいトランポリンでみんなすごく楽しそうに

遊んでいました。また、今月の外出は、11月24日に、佐倉の草ぶえの丘へ行ってきました。みんなでお弁当を食べて、遊具でいっぱい遊び、ヤギなどの動物を見たり、ミニ鉄道に乗ったりと楽しんできました。

鴉嶺の家（児童）での活動は、おやつにお好み焼きやモンブランなどを作ったり、お買い物などみんな積極的に参加してくれました。毎日少しずつ色んな成長を見せてくれる子ども達とスタッフも一緒に成長していきたいです。みなさまもお体に気を付けてお過ごしください。（錦見）



ぽけっと

秋を迎え、帰りの送迎車の車内でも子どもたちと「寒くなってきたね」「暗くなってきたね」と冬がもうすぐそこまで来ているのを感じる頃となりました。

今年の秋は沢山のイベントがあり子ども達の楽しんでいる様子や成長している姿が見られました。Aちゃんは最近入ってきたK君と一緒に歌やダンスをしたり、「大丈夫？」と声を掛けたりと沢山面倒を見てくれます。

大網や東金・袖ヶ浦の支援学校で行われたやまも祭、秋桜祭、みどり祭に出かけ、いつも一緒に過ごしているお子さんが活躍している姿を拝見しつつ、学校の作業班のコーナーでは、実際の作業を体験できるところがあったり、工夫を凝らした作品が並んでいて感動しました。

また、お芋掘りを体験することが出来ました。車で向かう途

中「楽しみだね！」とワクワク。畑に着くと自分で持ってきた長靴に履き替え、お芋のツルを見つけると「あったよー！」と目をキラキラさせて夢中になって掘っている子、取れたお芋の大きさを見て「大きい取れたね！」と大きさを比べている子、それぞれ楽しんでいました。そのあと、収穫したお芋は蒸しパンや大学いもなどにしてみんなでおいしく頂きました。

寒さもますます厳しくなると思いますが、寒さに負けずスタッフ共々みんな元気に、クリスマス・年末年始を迎えられるよう願っています。（沼沢）



立冬を過ぎ、暦の上では冬を迎えましたが、まだ紅葉などが見られ、秋という感じも残る季節ですがいかがお過ごしでしょうか。この時期にもなると風邪やインフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症が徐々に広まり学級閉鎖になるところもあるようです。予防として手洗い・うがいの励行を忘れずにして頂き、年末年始を楽しく過ごして頂きたいと思っています。

ところで、先日福祉の展覧会に行ってきました。そこには数年前には実現可能な福祉器具などがたくさん展示されていました。どれもこれもとても便利なものばかりで、私が使いたいと思うものもたくさんありました。しかし、これほどまでに便利な社会になると、果たしてどこまで我々自身関わっていかばよいか線引きが難しくなります。便利になるのはいいことなのだけれど、そ

れがどこまで利用者さんの生活の為になるかこれから考えていかなければいけないと思いました。

最後に、今年を振り返って利用者さんと楽しく過ごす時間がたくさんできて、とても幸せでした。ただ単に利用者さんが楽しい時間を過ごせたというわけではなく、皆さんの成長が利用者の皆さん自身で感じ取れたのが今年1番の成果だと思います。例えば、なかなか笑顔が見られなかった利用者さんが積極的に「散歩に行こうよ」と声を掛けてくれるまでになりました。また、ある利用者さんはこれがしたいということをお肩をたたいてアピールしてくれるようになりました。来年もこのような光景を見られたいいなと思っています。(亀山)

このところ、すっかり日が暮れる時間が早くなりましたね。つい先日まで暑い暑いと言っていたのに、気がつけば各事業所さんに年末年始休業の確認をしていたりして、「季節の移ろい」の早さを感じずにはいられません。

「十年ひと昔」という言葉があります。今のIT社会では、世の中の移り変わりがより早くになっていくように感じられます。今や五年ひと昔、いや三年ひと昔と言ってもいい時代なのかもしれません。今から十年前という二〇〇八年。リーマンショックによる世界的な金融危機が起き、日本では派遣切りが相次ぎ、東京の日比谷公園には年越し派遣村ができた。また、iPhone3Gが日本で初めて発売された年でもあります。そう考えてみ

ると、十年前にすでにiPhoneがあったことが私にはちよつとした驚きでもありません。このような時代の変化を「時節の移ろいが早い」と言ってもいいのかもしれません。るるとでは、今年度の卒業生を中心にそろそろ来年度に向けた取り組みが活発になってきます。それぞれの特性に合った道に進んでいけるように、さまざまな課題と向き合っていくと思います。また、卒業だけでなく、新たに入学や進学をされる方もいらっしゃるのではあります。気持ち的にはすでに春を間近に控えたような気分です。そういえば、初めて度入りのメガネを作ったのも十年前だったような・・・最近、メガネをかけている時間が増えたもの「時節の移ろい」と言えばちよつとは聞かえがいいのかもしれないね。(東野)

冬が近づき、風のある日は寒気が身に染みるようになりましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

いつも人気者のBさん。色々考え、周りを明るくしてくれています。ある日、Bさんは小さい頃の写真をもらい、嬉しそうにみんなに見せていました。思いついたかのように「そうだ！」と動き始め、準備してきたものがありました。画用紙と絵の具です。自分の写真を見て、プロの絵描きのように色を考えながら描き始めたのです。そして、最後には自分の名前を个性的に記し、完成させました。終えたかと思いき、散歩の声掛けをしたところ、集中している様子でした。次々と描き始めたので完成を楽しみしていると、職員員の似顔絵を特徴をつかみながら描いてくれたのです。きちんと描いた絵の説明もしてくれま

した。分からない漢字は聞きながら見ながらと一生懸命名前まで書いてくれました。また、仲

の良いCさんの似顔絵を描きプレゼントしていました。描いている所を見ていたAさん。「私も描くー」といい、画用紙と鉛筆を準備し職員や家族の似顔絵と一緒に描いていました。

同じ人をモデルに描いてもらうと、それぞれ違う表情や形、その人なりの表現になつていて「あ〜」と思う絵を見せてもらいました。

1つのきっかけで色々教えてもらい発見できたことをもつとたくさん何かにつなげることができたらしいなと思えました。（糸日谷）



怒涛のイベントラッシュがやっと終息し、少し気持ちも落ち着いてきたハンドワーク就労です。皆様はこの秋どんなイベントにお出かけになったのでしょうか？もしかしたら、どこかでお会いしているかもしれせんね。

さて、大分冬のらしい寒さがやって来ました。寒暖の差が激しくなり、やはり風邪をひく人が出てしまいました。しかし今回の風邪はあまり強くなかったのか、それとも皆さんの体力が勝ったのか重症化せずに済み、風邪の抗体を作ることができたようです。今はほとんどの人が元気に仕事に取り組んでいます。

仕事と言えば、ペン組立の内職をしているのですが、納品に行く事も大事な仕事で、毎回2〜3名で行っています。皆様はただ運ぶだけと思うかもし

れませんが、色々な決まりごとがあり、段ボールの返却は種類ごと決まった場所に置かなければならなかったり、余りの部材も種類ごとに入れる箱が違ったり、次の仕事の部材の検品もしなければなりません。今まではそれぞれの場面で指示が必要でしたが、最近ではAさんは台車を、Bさんは段ボールの返却を、Cさんは部材の返却をお願いします。と打ち合わせをすれば、自分達で動けるようになってきました。検品も自分達で行うようになってきて、メンバーの成長が伺えます。

こんな仕事を頑張った1年。12月のご褒美の忘年会も待ち構えています。とつても楽しみにしていたメンバー達。今年も食べ放題で労をねぎらいたいと思います。（豊田）

五根の家（グループホーム）

11月12日の朝方、五根の家開所当時からグループホームに入居されていたAさんが、グループホーム居室にてご家族の方達に見守られながら眠るようにご逝去されました。スタッフ一同、心よりご冥福をお祈り申し上げます。Aさんは最後に近づいてくると声掛けなどに反応が無くなってしまうましたが、ご家族の方達はAさんに今までの生い立ちや様々なエピソードを語りかけるように話されたり、Aさんが大好きなひ孫さん達は歌を歌い、Aさんを元気づけておられました。ご逝去されるほんの少し前にAさんの娘さんから、「川の流れのように」の曲が好きだった事を聞き、曲を流すと今まで反応の無かったAさんが声を出し、一粒の涙を流されました。その様子を見て、娘さんが「私達の今までの会話等が本人に届いていたことが分かり本

当に嬉しい」と話されておりました。別れの前にただ悲しむのではなく最期の瞬間まで思いやる気持ちがある人のなによりの支えになり、大切な人達の声と思いは必ず届いていることがこの経験を通して感じる事が出来ました。

PS・写真はAさんがよく作ってくれた、とても美味しいなご寿司です。（北村）



五根の家（小規模多機能ホーム）

小規模多機能ホームでは10月より生産性向上事業という国の事業に取り組んでおります。どういった事業かと申しますと、日本の優れた生産業の取り組みを介護業界に少しでも取り入れ、業務の改善を目指そうというものです。生産業の優れた取り組みと組むというのは、3M（ムリ、ムダ、ムラ）をなくすことと、5S（整理、整頓、清潔、清掃、躰）をしっかりと行うことだそうです。

昨今、人材不足がこれからの日本で重要な問題と取り上げられ、外国人労働者の受け入れをどうするか等、国会では国の今後の方向性を決める大事な話し合いが行われております。介護業界も人材不足は深刻で、どこの事業所も人手が足りない、求人募集では介護業界の求人をも多く見ます。その中で、3Mを無くすこと

と、5Sをしっかりと行うことで、仕事の効率をあげることが今回の事業の目的ということで、小規模多機能ホームでは、「人材育成」「整理整頓」ということを課題にあげ年度内に取り組んでいきます。コンサルタントの方にアドバイスをいただきながら、少しでも職員が働きやすい環境をつくり、ご利用されている方にとってもプラスになるような環境を作っていけるようにしていきたいと思えます。

職員には業務時間調査や何が課題となっているのか等アンケートを行い、現在の仕事状況の把握に努め、改善できる部分はないか検討しております。また、少しでもきれいな環境を作ろうとしないものは捨て、整理整頓に取り組んでおります。急に変えることは正直難しいと思いますが、今後の五根の家にとって必要な取り組みだと思えますので、しっかりと行っていきますと思います。（宗形）

前回（平成30年9月号）の続きになりますが、自立相談支援事業従事者養成研修（後期）が神奈川県葉山町で実施され、虎ノ門で実施された研修（前期）に引き続き参加してまいりました。

今回の研修の柱は(1)個別支援の基本(2)個を支える地域づくり(3)相談支援の展開の3本でした。講師からは、相談支援の業務は「聴く」「感じる」「想像する」「思考する」「伝える」の繰り返しであり、窓口である担当者としてそれを常に意識して活動していくことが重要であるという助言をいただきました。さらに、「本制度は相談支援と地域づくりの先端を切り拓いています。生活困窮者の自立と尊厳の確保という理念を実現するための相談支援とは？地域づくりとは？改めて皆さんと一緒に学びたい」という、

同志としてのメッセージも。

まだまだ未熟な者としては、日々の実践の中でより良い相談支援の在り方を模索しているところですが、「ニーズの充足や問題解決の主体を本人に置きながら」「本人の力を引き出す支援」として(1)本人の気づきを促す。(2)本人の力を活かした支援をすすめる。(3)本人が決めるプロセスを支える。その過程を大切にしながら、「甘え」を助長することなく、しかし、突き放すこともなく、本人の「自立」に主眼を置きながら「いい塩梅」の相談支援の在り方を探りつつ、日々の実践に努めていきたいと考えています。いろいろな方々のご支援で実現した研修。関係各位に心から感謝申し上げます。(篠崎)

段々と日が暮れるのも早くなり、気がつくとも今年も残りわずかになってしまいました。

朝夕の寒暖差も激しく体調を崩しやすい季節になりましたが、いきりんの子ども達は体調不良などでお休みをする子どもも少なく、元気いっぱい過ごしています。

11月は天候の良い日が多く、外遊びにたくさん出掛ける事ができました。成長と共に手をつないで歩ける子も増えてきて、あんよが上手なRくんは公園からの帰り道、保育士と手をつないでいきりんまで戻ります。途中、道行く人に手を振ったり、色づき始めた果物や草花を「あつ!!おつ!!」と指差し、保育士達が気付かないことをたくさん発見してくれます。まだ手をつないで歩くことが難しい子は、公園内で保育士に手を添えてもらって探索を楽しんでいます。

す。

12月に入って…。今年もいきりんにサンタさんが来てくれるかな？もし来てくれたのなら、毎朝行っている「わくお」の体操や覚えたての手遊びを披露しようと思います。

また、11月からいきりんに新しいお友達が2名加わり、みんなで9名となりました。まだ登園時は泣いてしまいますが、少しずついきりんでの生活やお友達、保育士にも慣れてきて、日中は笑顔で遊ぶ姿が多く見られるようになってきました。みんな、よろしくね♪

慌ただしい時期でもありますが、風邪などに気をつけ、皆様良いお年をお迎えください。(山田)



11月に『学び舎・ゆーすぽーと中間報告会』を開催しました。地域の方や関係者等々、沢山の方においで頂きました。お忙しい中、誠にありがとうございました。

基調講演『子どもを取り巻く問題や課題』では、日本の一人親家庭の貧困率の高さの凄まじさを知り、相対的貧困率も子どもの貧困率も高く：分かったつもりで分かっていなかった現実を突きつけられました。最近の『子ども食堂』はターゲットを決めず、高齢者・外国人・親子一緒等々、誰でも利用でき、地域を盛り上げる地域交流の場となってきたこと。継続して関わることで、段々と困り事が見えてくるのだそうです。今後は益々、地域力が大事になってきますね。以前研修で『現在の日本社会は、古い共同体が崩れ、新しいコミュニティ

ができていない』と聞きました。現在は過渡期にあり、新しいコミュニティを形成する時なの

でしょう。ゆーすぽーとには地域の方々の力が不可欠です。今後地域の方々の助けを得て、自ら開いて繋がりが広がって、成長しながら地域に返していきたいと思えます。

子ども達は今月、大地の恵み『収穫体験』をしました。サテライトでは『書道教室とヨガ教室』を開催し、地域やふくおかの家の方々の参加もあり、少しずつ交流を広げています。

大笑いした話を1つ。口の横にケチャップを付けて登場したA君。「何食べてきたの？」の問いに「バラバラの卵」という返事。一瞬沈黙の後：もしかしてスクランブルエッグ!?と、大笑いでした！なるほど、伝え方は色々あるなあ、伝わるもんだなあと感心したものです。(安井)

寒さも本格的になってきました。今年も残すところあと1ヵ月。ひなたぼっこ・椿森が開所してからあつという間の1年が経ち、徐々に地域の方々の関わりができてきました。近くの中学校の子ども110番の家に登録をし、教頭先生とお会いする機会がありました。今後、学

校行事の際には声をかけて下さるそうです。また、ご近所の方は職員が帰る際には「お疲れ様。」と声をかけて下さったり、ご自宅で不要な鍋や食器を下さったりします。先日民生委員の方々の定例会に出席させて頂き、介護の話を通じて様々なご意見を聞くことができました。徐々にひなたぼっこ・椿森の存在が地域に認知されつつあることを嬉しく思います。今年最後の運営推進会議では、事例

検討を通して構成員の皆様から様々なアドバイスやご意見を頂きました。その方を事業所だけでなく地域で支える事とはこういう事でもあるのだと実感したところ。今後は社会福祉協議会の方や地域包括支援センターの方々の地域ケア会議に出席し、地域の問題点を共有する場にも出向いて行き、ひなたぼっこ・椿森が地域の為にできる事を一緒に考えていきたいと思っています。

まだまだ、至らない事だらけのひなたぼっこ・椿森ですが、焦らずじっくりと地域との良い関係作りに努めていきたいと思えます。

寒さの和らいだ晴れた日、利用者さんと近くの公園に散歩に行つて来ました。小さな男の子に優しく話しかけるIさん、垣根に首を突っ込みながら必死に松ぼっくりを拾うYさん。室内だけでは見られないご様子や笑顔を見る事ができ、心温まるひと時でした。(鈴江)

まちの保育所空ぼ

肌を感じる風も涼しさから冷たさに変わり、冬の訪れを感じる頃となりました。外に出た子どもからは「さむい！」の声。すると隣にいた子も真似して「さむい！」と…一緒に顔を見合わせにつこり。お友達と一緒になら冬の寒さもへっちゃら、心はぼかぼかの子ども達です。

先日、空ぼではお店屋さんごっこをしました。子ども達が作ったどんぐりクッキーやマラカス、花紙で作ったカラフルなジュースが店頭に並びます。それぞれが小さなバッグを肩にかけ、スタッフの待つお店に出演！お店に並んだ品物を選ぶ子ども達の目はキラキラと輝き、ワクワクが伝わってきます。「これ、ください！」「はい、100円です！」と、お金と品物を交換しながら、クッキーをたくさん買ってみたい、バッグを持って歩くのを楽しんだり、買ったも

のを椅子の上に広げてみたりと、思い思いに雰囲気を楽しむ、楽しいお店屋さんごっこになりました。

また、先月から取り入れたうがい習慣も徐々に身に付き、散歩から帰ると手を洗いコップを手に取り水を注いでいます。ブクブクペツ！と上手な子もいれば、ダクツと口から水が垂れる子も…(笑)毎日頑張っています。今年も残すところあとわずかとなりました。体調管理に気を付けながら今年最後まで元気に過ごしたいと思えます。皆様どうぞよいお年をお迎え下さい。(中山)



ふくおかの家

朝夕冷え込む季節になりましたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

6月に開所した「ふくおかの家」は半年が経ち、そして「鶴嶺の家」が合流して2ヶ月が経ちました。開所時から「ふくおかの家」をご利用されている方々におかれましては、10月から急に賑やかになり、戸惑うこともあったかと思いますが、皆様暖かく受け入れて下さり感謝しております。ありがとうございます。では、ここで「ふくおかの家」の1日の様子を、お話ししたいと思います。

午前10時半頃に、利用者の方々がお揃いになるので、全員でラジ体操を行います。「1234…」大きな掛け声で、それはそれは皆様元気に体操さされていて、とても楽しい時間です。その後お天気の良い日は、お散歩に出掛けたり、広いベラ

ンダで日向ぼっこをしたりします。とてもどかな場所なので、鳥の鳴き声だけが聴こえてきて、まったりとした気持ちになります。また、カラオケを行える部屋があり、カラオケを楽しめる方もいらつしゃいます。

11時半頃になると、昼食の準備を手伝って下さいます。おかずをお皿に取り分けたり、箸を並べたり手際よく手伝って下さいます。昼食は大きなテーブルを囲み、全員で頂きます。お腹も満たされ、それぞれのんびりした時間を過ごされた後、お買い物ツアーが始まります。明日の食材の他、利用者の方個人のお買い物をされたり、好きな野菜やおかずのお話を下さったりして会話を楽しませて下さいます。買い物から帰って来て、皆様でお茶して…という感じで過ごしています。今後、イベントや外出等に、どんどん取り組んでいこうと考えています。それでは皆様、風邪にはお気を付けてお過ごし下さい。(金坂)

企画・イベント情報

穂垂るの会

介護している方々が集まって日々の苦勞話を気軽に本音で話し合う会です。

*今回は、昼食をとりながらの話し合いの後、13時から東金地域包括支援センターの小川さんにおいでいただき、お話しをいただく予定です。

その後14時から、最近話題の「ハーバリウム」を作成します。講師は荻野さんです。どなたでもできます。参加していただける方は、昼食準備の都合上、12月末までにお知らせください。

日時：1月10日(木)

12時半～15時

会場：ふれあいセンター

2階 創作室

参加費：500円(昼食代)

主催・連絡先：

穂垂るの会・井上

(0900-7171-1701)

ヨガサロン

健康管理、仲間づくりにヨガを始めませんか？旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日：1月9日(水)

1日23日(水)

10時半～12時

※興味のある方は、ご連絡下さい。

ありさ(50-0362)

街Cafeさくら

「新春、乞うご期待♪」

日時：1月20日(日)

13時～16時

会場：東金市東金1060-6

(サンフラワー1階内)

参加費：100円(お茶代)

問い合わせ先：

社会福祉法人ゆりの木会内

認知症カフェ担当

平賀・笠原(50-8111)

お知らせ

スタッフ募集

子どもや障がい者、お年寄り等、人に関わる活動に興味のある方、一緒に働きませんか？

日数・時間・曜日・内容(介護・保育・支援・食事づくり・清掃など)・年齢等ご相談に乗ります。

※興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡ください。

(533630)

ボランティア募集

趣味や特技、仕事を通じて身につけたスキル、体力等、自分らしさを生かしたボランティア活動をやってみませんか？

ボランティア活動を通じて得られる効果は無限大です。

子どもや障がい者、お年寄り等、人に関わる活動に興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡ください。

(533630)

編集後記

師走に入り、2018年も終わりを迎えようとしています。今年のちば舎の大きな動きをまとめると、5月「まちの保育所 空ば」、6月「ふくおかの家」の開設。12月「鶴嶺の家」の改装工事等たくさんあり、皆様には大変お世話になりました。来年も何卒よろしくお申しあげます。(S)

とても寒い時期になってきました。暖かくして風邪等ひかないように過ごしたいですね。(I)



ちばしゃ通信
(Vol.50)

発行日：2018年12月19日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630

1 Day ボランティア 募集

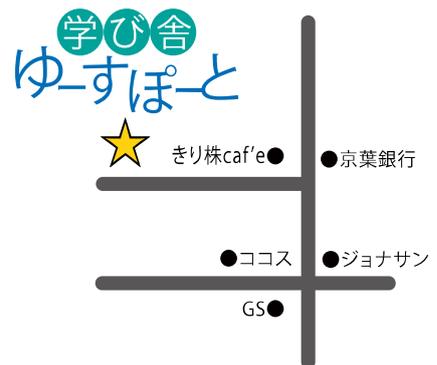
- 子ども達に自分の“知識”や“技術”を伝えたい人
- 子ども達と一緒に学びたいと思っている人
- 子ども達に“ご飯”や“おやつ”をつくってあげたいと思っている人
- 子どもに関わる活動をしたいと考えている人
- 子ども達に「教える」とはということか?を学びたいと思っている人
- 子どもに関わる仕事をしたいと思っている人
- 子ども一人ひとりに寄り添いたい!と思っている人
- 未来をつくる子ども達のために何かしたいと思っている!あなた・・・

あなたの“思い”と“時間”と“力”を少しだけ、
地域の子ども達のために活かしてみませんか?

- 活動日 月曜日・水曜日・木曜日・土曜日
- 活動時間 平常時 15:00～19:00
土曜日 13:00～17:00
祝日 14:00～18:00
長期休業(夏休み・冬休み等) ※変更になります。
- 活動内容 小学生・中学生への学習支援、学習の見守り・サポート、
社会体験のサポート、食事づくり、話相手など。
- 活動条件 毎月1回、2時間程度

お問い合わせ先

学び舎 ゆーすぽーと
TEL.0475-86-6543



※東金駅より車で5分、徒歩15分